



**"COMFORT WOMEN"**  
JUSTICE COALITION

5/16/2018

#RememberComfortWomen

## 連帯声明

先月の4月28日に、フィリピン政府は日本からの圧力に屈してマニラに設けられた「慰安婦」像を撤去しました。

このメモリアルは広範の支持を得ていたにも関わらず、誰一人反対することが出来ないように深夜の漆黒の中、取り去られたのです。

その直後に、大阪の吉村市長は、日本の税金を活用してまで「慰安婦」像「力の柱」を撤去する様にサンフランシスコ市に圧力をかけるべきだとの旨の発言をしています。

ですが、私達「慰安婦」正義連盟は、みなさんを始め、大阪の多くの市民が吉村市長と同意していないことを知っています。彼が、サンフランシスコ市と大阪が世界に誇る60年間に渡る姉妹都市関係を一方的に解消する決断に対しても、皆さんは反対している事を知っています。私達は、吉村市長や日本政府による何らかの脅しに屈することは決してありません。今後も「慰安婦」正義連盟は、「力の柱」が公共の場から撤去されることを、決して許しません。今後何十年にも渡って、このメモリアルは歴史を記憶する重要性を象徴し、その真実を直視する女性達を讃えていきます。

現に、たった昨日の事、6月5日のサンフランシスコ市長選の候補者5名に対して、市長となった場合、必ず何らかの圧力に屈することなく、サンフランシスコの「慰安婦」像を公共資産として守り通す事を書面で公言する様に要求しました。

私達は、ここに、大阪の人々や団体による「慰安婦」とされた女性達の正義の要求に共鳴します。私達は、はるか海の彼方から、今、この場で皆さんと共に、世界中に設置されたメモリアルを引きずり倒す日本政府に抗議します。私達は、日本政府が公式に全ての生存者に謝罪をし、彼女らやその子孫に対して補償をする事を皆さんとともに要求します。それこそが、女性に対する暴力をこの世から撤廃する道のりだと信じています。

「慰安婦」正義連盟 共同代表

リリアン・シン

ジュリー・タン